

# 一般質問

## 白河藩成立400年記念事業開催の主旨と意義は？

白河藩の成立があったからこそ今の白河がある



佐川 京子 議員

**Q** 来年開催予定の白河藩成立400年記念事業の主旨及び意義を伺う。また本事業が多く市民参加で祝えるよう願う。

**A** 白河藩の成立は、まちの成り立ちや文化の形成、さらに市民意識の根底に深く関わる重要な意味を持つ。



そのことを市民と共有し、先人が築いた歩みと誇りに思いを致すことに本事業の意義がある。記念事業は、「オール白河」で取り組み、本市の未来に繋がる実り多き事業とする。

**Q** この夏も酷暑が予想されるが、体育授業の学校内での猛暑対策について伺う。

**A** 暑さ指数の確認を行い体育が実施できるか判断する。冷房設備は調査中。

**Q** 有害なSNSから子どもたちを守るリテラシーの指導強化が必要と考えるが。

**A** 小中学生のスマホ所持率は上昇し使用時間も長い。情報モラル教育の指導強化や親子でトラブルや危険性について話してもらえよう情報発信する。

**Q** 学校での防犯カメラの設置状況と今後の設置予定について伺う。

**A** 校舎改築に合わせて設置していて、小学校4校、中学校3校に設置済み。今後も検討していく。



白河小峰城さくらまつり

## 日常生活圏にクマが出没した際の対応を伺う

緊急銃猟が可能になったことから、適切な対応に努める。



水野谷正則 議員

**Q** クマの目撃情報が寄せられた際の対応を伺う。

**A** 県や警察署、鳥獣被害対策実施隊等と連携しながら、警戒体制の強化に取り組んでいる。あわせて、防災行政無線等で、迅速な注意喚起を行っている。

**Q** 人の日常生活圏にクマ

が出没した際緊急銃猟実施の体制を伺う。

**A** 緊急銃猟が可能になった。関係機関と連携して適切な対応に努める。

**Q** 遊休農地対策について、他県では地域外からの農業法人参入に取組んでいる県もある、本市の取組状況を伺う。

**A** 地域外からの農業法人等の参入促進を図る。併せて、市内の遊休農地の調査・分析を行い、農地の現状や活用の方

向性を整理し、有効活用につなげたい。  
**Q** 国道4号について、早期の4車線化が望まれている。整備の見通しを伺う。

**A** 国へ要望活動を実施してきた。薄葉交差点〜女石交差点までの約510m区間では、事故対策等として4車線化に着手しており、今年度は用地調査を予定している。



## 郭内・宝酒造跡地の利活用について伺う

将来的な本格利用を見据えて最大限活用していく



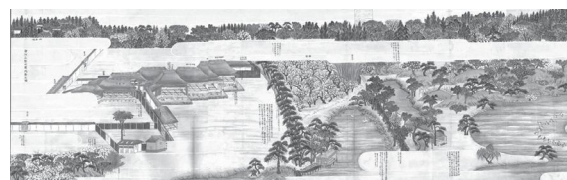
鈴木 裕哉 議員



**Q** 中心市街地の回遊性やイベント時の利便性向上、また防災拠点の確保という観点から郭内・宝酒造跡地を「歴史発信機能を備えた大規模な暫定駐車場」として整備することを提案するが、市長の見解を伺う。

**A** 当該地は「小峰城三之

丸跡」が地中に埋蔵されており、開発には約四億円程度の発掘調査費が必要となる。しかし、それだけの財源を投じてでも市政進展のためであれば活用すべきと考えている。提言された利活用案は小峰城を訪れる観光客や大型バスの受入れ環境の充実にもつながる。また地中にある



三郭四園北面之図

松平定信公ゆかりの庭園「三郭四園」の歴史や文化的魅力を伝えることもできる。  
現在は「小峰城さくらまつり」や「白河関まつり」など各種イベント時の臨時駐車場として年間1000日程度利用されている。さらに防災拠点として、当該地の広さや立地、アクセス性などから災害時には緊急車両の待機場所や物資の集積地として活用できるものと考えている。

# 白河藩成立400年記念事業の成功へ

城下町白河の機運の醸成を図る



植村 美洋 議員



**Q** 空き家対策として「特定空き家」の解体などが行われているが、空き家の利活用も重要だと思われるが、考えを伺う。

**A** 「空き家バンク」を創設し、物件の登録や購入希望者などのマッチングを積極的に進めたり、空き店舗を活用した起業支援、街なかの空き家を購入する子育て世帯への補助などを行っている。

**Q** 地域医療の充実には、医師、看護師、検査技師などの人材確保が重要。これら医療関係への進学者に対する奨学金制度が必要と思われるが、考えを伺う。

**A** 現在「渡辺薫教育振興基金」を活用し、地域で医師を目指す学生を対象とした、新たな奨学金制度の創設を検討しているが、看護師、検査技師の確保のためにこの基金を活用していくことも調査・研究していく。

**Q** 来年の「白河藩成立400年記念事業」は、市民の郷土愛の醸成、商品開発など、今後の地域振興につながる事業とすべきと思われるが、考えを伺う。

**A** 記念事業については、郷土の誇りや愛着を育むとともに、継続的な経済の活性化につなげることが重要と考えている。



清水門復元イメージ

## バス移動支援（助成券）を高校生も対象に

他自治体の事例も参考に検討していく



遠藤 公彦 議員



**Q** 本市のバス移動支援（助成券）は、対象者が本市に住所登録があり、75歳以上の高齢者、障がい者、妊産婦になっているが、高校生の保護者への経済的負担の軽減や公共交通機関の利用促進を図るために、本市の高校生も対象にすべきと考えるが市の見解を伺う。

**A** バス移動支援事業の助成額は、年間で1万2千円が上限となるが、高校生を対象とした場合も、費用負担の軽減につながるものと考えている。他自治体の事例も参考にしながら費用負担に対する支援の要否や、公共交通の利用促進について検討していく。

| 白河市バス移動支援助成券 |                                                                                          |
|--------------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 交付番号         | 第 1591 号                                                                                 |
| 有効期限         | 令和9年3月31日                                                                                |
| 助成額          | 100円                                                                                     |
| 発行者          | 白河市長  |

白河市バス移動支援助成券

**Q** 条例により令和8年3月31日をもって地域活性化協議会が終了となったが、引き続き、広く市民から意見を聴くことにより、地域の特性を生かした地域づくりを行うことは重要と考えるが、今後、同様の協議会等を設置する考えはあるのか伺う。

**A** 新たな組織の設置について、現在、検討をしている。

## 大信運動公園テニスコートが使用出来ない理由は

利用者の安全性を考慮し、使用中止とした



永山 均 議員



**Q** 移住を検討している子育て世代にとって、子育て支援施策は移住先を決める大きな判断材料の一つになるため、PR活動の強化が必要ではないか。

**A** 本市は、他の自治体に引けを取らない施策を展開している。ホームページやSNSを活用して伝えるなど、効果的な周知を図っていく。

**Q** しらかわ病児保育室を利用する際に、医師の事前診察が必要であるが、医療相談アプリを活用できないか。

**A** 医療相談アプリは、診断とは異なり安全性の確保を担保できないため難しい。

**Q** 大信運動公園内のテニスコートを全面使用中止とされている理由と、使用再開の予定について伺う。

**A** 経年劣化による床面全面のひび割れや、ネット支柱の不具合により、利用者の安全性を考慮し、使用中止した。4コートの内2コートの床面改修を予定したが、全コートにアスベストの含有が判明したため、整備の方向性について検討していく。



大信運動公園テニスコート



# 熱中症対策にプレクーリングを周知してみてもは

広く市民に周知する



室井 伸一 議員



**Q** 厚生労働省が新たに熱中症対策の一つとして推奨しているプレクーリングを市民に知ってもらうために周知をしてみてもは。

**A** プレクーリングは、熱中症を生じるおそれのある農作業や運動など、屋内外での活動の前に実施すること、熱中症予防につながることを期待できるため、これまでの熱中症予防対策にプレクーリングを加え、市ホームページや保健センターだよりに掲載するなどして、広く市民に周知していく。

**Q** プレクーリングを学校の体育の授業や部活動を行う前に実施してみてもは。

**A** 運動前に深部体温を下げ、運動中の急激な体温上昇を緩やかにし、熱中症の発症リスクを軽減する有効な手法であると考えている。校長会で周知し、児童生徒が安全に安心して、スポーツや学習に取り組める環境づくりに取り組む。



# 学校の適正配置、学校の在り方は多様化、具体的な計画を!

学校は地域と共にある。一方、学校の再編を考えていく必要もある



大木 絵理 議員



**Q** 白河市子ども計画の進捗管理はどのように行うのか?

**A** 各事業、5月までに前年度の評価シートを作成。7月に「子ども・子育て会議」へ報告。会議の意見を次年度以降反映、または適宜見直す。

**Q** 「高齢者にやさしい住まいづくり助成事業」。資材高騰などの影響を考慮し、近隣町村と同様、課税世帯も対象とするなど対象要件緩和を求める。

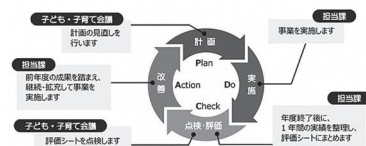
**A** 他自治体の取り組みを参考に検討する。

**Q** 学校の配置計画。近年、複合化など学校の在り方は多様化している。他自治体同様、統廃合を含め、具体的な再編計画を立てるべきではないか。

**A** 学校は地域と共にある。小規模化が進む学校から委員会を設置し議論を重ねている。一方、児童生徒数、学校の老朽化対策などを考慮し、再編を考えていく必要もある。

**Q** 小中学生のタブレット。習熟度別学習が可能となるA・ドリルの活用を望む。

**A** 費用等に課題はあるが、今後調査研究、各学校、情報交換に努める。



第1期白河市子ども計画より引用

# 不良空家とは。また、その解体補助は。

市の職員が調査し判断したもの。また、解体費用として最大50万円まで補助。



大竹 功一 議員



**Q** 調査によれば、令和8年5月1日現在、白河市の人口は56,007名、そのうち75歳以上の人口は9,834名、そのうち一人暮らしは2,901名と一人暮らしの高齢者が多くなっている。この際、「私の終活登録事業」を広めるためにも一人暮らしの高齢者すべてに配布してはどうか。

**A** 事業内容を多くの方に知っていただくように広報誌への掲載や各種講演会等で周知に努めている。「未来ノート」等は本庁舎内ロビーに備え付けており、気軽にお持ち帰りいただける。また、本事業で登録を認められる方は、60歳以上の方または市長が特に必要と認める方となっている。

**Q** 以前の他議員の質問で、老朽空き家の中で特に破損が著しい空き家を「不良空家」とし、特に解体費用を増額したと聞く。詳細を伺う。

**A** 老朽空き家のうち、特に破損状態が酷いものを国の基準に基づき、専門の市の職員が調査・判断したものを「不良空家」と認定し、解体費用として最大50万円まで補助し、少しでも多くの不良空家を解消したいと考えている。



# プレコンセプションケアへの取り組みについて伺う

幅広い世代に向けて継続した周知と普及啓発に努めていく



吉見優一郎 議員



**Q** プレコンへの取り組みや、プレコンサポーターの養成・活用を通じた環境づくり、プレコン導入企業に對しての支援や補助について伺う。

**A** 幅広い世代の方々に理解してもらえようように継続した普及啓発に努めるとともに、若者に寄り添い、適切な情報提供、専門機関への橋渡しの役割を担うサポーターや、関係機関と連携しながらプレコンの基本理念の周知を図り、効果的な支援の在り方についても調査・研究していく。

**Q** 各市営体育館及び武道館並びに市内小中学校の体育館等への空調設備の整備について伺う。



白河市中心体育館

**A** 夏季の熱中症対策や年間を通した施設環境の充実を図る上で、様々な課題を整理し対応するため、先進自治体の視察や製品実演会での効果検証などを踏まえて、今年度「公共施設等総合管理計画」を見直していく。

**Q** 害獣対策へのDXの導入を伺う。

**A** 現在箱わなへのセンサーカメラや地図情報連携による情報提供などが導入されています。今後はドローン利用などを含めた新たな取組を、本市の実情に合わせてDX技術の活用を検討していく。

## 資材費の高騰は「複合施設整備」の事業費に影響か

工期の延長や予算の増額補正も視野に



柴原 隆夫 議員



**Q** 中東情勢の悪化により資材費の高騰や不足から建設コストが見通せず入札を辞退する「入札不調」が多発している。本市の複合施設整備の予算は本体工事電気設備費、暖冷房設備費等で73億円となっている。この予算には開館に必要な備品購入費は含まれておらず新たな予算が必要になる。また、複合施設整備関連の立体駐車場は8億円の事業費で整備された。このように、複合施設整備は大規模事業であるため、中東戦争による資材の高騰から多額の予算不足が生じると思われるが、その対応について伺う。

**A** 定期的な工程会議を通して、中東情勢の悪化による資材費の高騰や納期遅延の影響を最小限に留めるため、建設資材の確保や工事順序の見直し等により対応している。資材の確保が厳しい場合や資材の高騰が著しい場合は工期の延長や予算の増額補正もせざるを得ないと考えている。



複合施設イメージ

## 教師不足は深刻。改善のためにどうするか。

学校環境と長時間労働を防ぐ仕組みが必要。



深谷 弘 議員



**Q** 文科省調査結果で、全国の教師不足が4年前の1・8倍になったとの報道があった。全国、福島県、白河市における教師不足は、どうなっているか。

**A** 教師不足の割合（不足率）は、令和7年度5月1日現在、全国で0・45%、3827名。県においては、小学校が2・35%、139名、中学校が2・09%、79名。白河市では、小学校が1・5%、3名、中学校は欠員ゼロである。

**Q** 「年度初めでこれだけの不足が生じているのは由々しき事態。非正規での穴埋めでは根本解決にならず、正規職員の比率を上げるべきだ。教員給与など学校環境を改善するための基盤的予算の拡大が必要。長時間労働を防ぐ仕組みをしっかりと作るべきだ」（佐久間慶大教授）との指摘にどう応えるか。

**A** 教員給与などの学校環境と長時間労働を防ぐ仕組みづくりの改善は必要。教員のなり手不足を解消するには、教職員が日々の教育活動にやりがいを感じる環境づくりが重要と考える。

